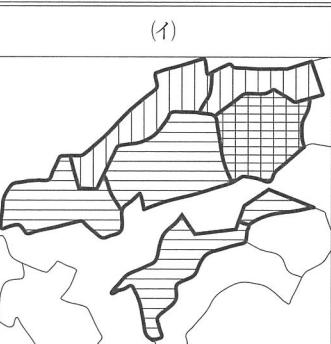
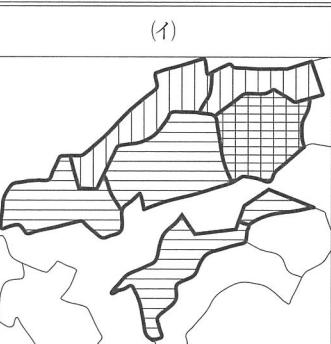
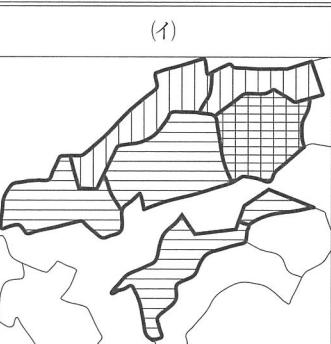


V 社会 正答表並びに採点基準 (平成27年度)

問	配点																					
問1	<table border="1"> <tr> <td>(ア) X 3</td><td>(イ) Y 2</td><td>(ウ) A 6</td><td>(エ) B 2</td><td>(オ) C 4</td><td>(カ) 1</td></tr> <tr> <td colspan="2">(エ) 都市a 2</td><td colspan="2">(オ) 都市b 3</td><td colspan="2">(カ) 都市c 1</td></tr> <tr> <td colspan="2">2月16日午前3時</td><td colspan="2"></td><td>オーストラリア 3</td><td>ポルトガル 1</td><td>エチオピア 2</td></tr> </table>	(ア) X 3	(イ) Y 2	(ウ) A 6	(エ) B 2	(オ) C 4	(カ) 1	(エ) 都市a 2		(オ) 都市b 3		(カ) 都市c 1		2月16日午前3時				オーストラリア 3	ポルトガル 1	エチオピア 2		
(ア) X 3	(イ) Y 2	(ウ) A 6	(エ) B 2	(オ) C 4	(カ) 1																	
(エ) 都市a 2		(オ) 都市b 3		(カ) 都市c 1																		
2月16日午前3時				オーストラリア 3	ポルトガル 1	エチオピア 2																
問2	<table border="1"> <tr> <td>(ア) A 2</td><td>(イ) B 3</td><td colspan="4" style="text-align: center;">(イ) </td></tr> <tr> <td colspan="2">(ウ) 5</td><td colspan="4"></td></tr> <tr> <td>(エ) F 2</td><td>(オ) G 6</td><td>(イ) 1</td><td>(ウ) 3</td><td>(カ) 2</td><td>(オ) 3</td></tr> </table>	(ア) A 2	(イ) B 3	(イ) 				(ウ) 5						(エ) F 2	(オ) G 6	(イ) 1	(ウ) 3	(カ) 2	(オ) 3			
(ア) A 2	(イ) B 3	(イ) 																				
(ウ) 5																						
(エ) F 2	(オ) G 6	(イ) 1	(ウ) 3	(カ) 2	(オ) 3																	
問3	<table border="1"> <tr> <td>(ア) 行つたこと 3</td><td>(イ) もたらされたこと 5</td><td>(ウ)</td><td>(エ)</td><td>(オ) 3</td><td>5 1 3</td></tr> </table>	(ア) 行つたこと 3	(イ) もたらされたこと 5	(ウ)	(エ)	(オ) 3	5 1 3															
(ア) 行つたこと 3	(イ) もたらされたこと 5	(ウ)	(エ)	(オ) 3	5 1 3																	
問4	<table border="1"> <tr> <td>(ア) 3</td><td>(イ) 1</td><td>(ウ) 2</td><td colspan="3"></td></tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(エ) この改革以前は、土地の多くを 地主が所持していた。そこで政 府は、自作農をつくり出す目的 で、地主から土地を買い上げ、 小作人に売り渡した。</td><td colspan="3" style="text-align: center;">(オ) 2</td></tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: right;">70 (エ)は正答例。</td></tr> </table>	(ア) 3	(イ) 1	(ウ) 2				(エ) この改革以前は、土地の多くを 地主が所持していた。そこで政 府は、自作農をつくり出す目的 で、地主から土地を買い上げ、 小作人に売り渡した。			(オ) 2			70 (エ)は正答例。								
(ア) 3	(イ) 1	(ウ) 2																				
(エ) この改革以前は、土地の多くを 地主が所持していた。そこで政 府は、自作農をつくり出す目的 で、地主から土地を買い上げ、 小作人に売り渡した。			(オ) 2																			
70 (エ)は正答例。																						
問5	<table border="1"> <tr> <td>(ア) 3</td><td colspan="5" style="text-align: center;">(イ) (イ) 権力を分立させ、権力が一つ に集中することを防止する</td><td>25 (イ)(イ)は正答例。</td></tr> <tr> <td>(イ) (ii) 4</td><td>(iii) 1</td><td>(ウ) 5</td><td>(エ) 2</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	(ア) 3	(イ) (イ) 権力を分立させ、権力が一つ に集中することを防止する					25 (イ)(イ)は正答例。	(イ) (ii) 4	(iii) 1	(ウ) 5	(エ) 2										
(ア) 3	(イ) (イ) 権力を分立させ、権力が一つ に集中することを防止する					25 (イ)(イ)は正答例。																
(イ) (ii) 4	(iii) 1	(ウ) 5	(エ) 2																			
問6	<table border="1"> <tr> <td>(ア) 消費者 1</td><td>(イ) 1</td><td>(ウ) もち</td><td>(エ) 4</td><td>(オ) 2</td><td>(カ) 3</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">(キ) 育児にあたる年齢階級の女性の就業率 が低いという現状がある。その要因の 一つとして、子どもを保育所に預けら れないということがあり、政府は受入 児童数の増加を図ってきた。</td><td>85 (キ)は正答例。</td></tr> <tr> <td colspan="7" style="text-align: right;">計 100点</td></tr> </table>	(ア) 消費者 1	(イ) 1	(ウ) もち	(エ) 4	(オ) 2	(カ) 3		(キ) 育児にあたる年齢階級の女性の就業率 が低いという現状がある。その要因の 一つとして、子どもを保育所に預けら れないということがあり、政府は受入 児童数の増加を図ってきた。						85 (キ)は正答例。	計 100点						
(ア) 消費者 1	(イ) 1	(ウ) もち	(エ) 4	(オ) 2	(カ) 3																	
(キ) 育児にあたる年齢階級の女性の就業率 が低いという現状がある。その要因の 一つとして、子どもを保育所に預けら れないということがあり、政府は受入 児童数の増加を図ってきた。						85 (キ)は正答例。																
計 100点																						

## 採点上の注意

- 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。
- 誤字・脱字（句読点に係る誤りを含む）の判断については、校内で統一すること。

### 問1

- (ア)については、二つともできて正答とする。  
(イ), (エ), (カ)については、それぞれ三つともできて正答とする。  
(オ)については、AM3時、3時と書いた場合は誤答とする。

### 問2

- (ア), (エ)については、二つともできて正答とする。  
(イ)については、中間点は設けない。岡山県の近隣の各県の国道と高速道路を合わせた道路実延長のうち、高速道路の占める割合が、表記の方法にしたがい、白地図に正しく全部書き入れてあれば正答とする。——線の範囲内を採点対象とすること。

### 問3

- (ア)については、二つともできて正答とする。  
(オ)については、順番に三つともすべてできて正答とする。

### 問4

- (エ)について
- ① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、次の(a), (b)がともに書いてある内容の文ならば正答とする。
    - (a) 資料Ⅰをもとに、この改革以前は、土地の多くを地主が所有していたこと。
    - (b) 資料Ⅱをもとに、自作農（人）をつくり出す（地主制を解体する）目的で、政府が地主から土地を買い上げ、小作人に売り渡したこと。
  - ② 中間点について
    - ・①の(a), (b)のいずれかの内容が不十分なものは、それぞれ4点減点とする。
    - ・①の(a), (b)のそれぞれの指定語句の脱落は、該当部分が不十分なものとして扱い4点減点とする。
    - ・誤字・脱字（句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず2点減点とする。
    - ・誤っていることが書き加えてある場合は、該当部分は不十分なものとして扱い4点減点とする。  
したがって、中間点は6点、4点、2点となる。

### 問5

- (イ)(i)について
- ① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、権力を分立させ、権力が一つに集中することを防止することが書いてある内容の文ならば正答とする。
  - ② 中間点について
    - ・誤字・脱字（句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず2点減点とする。
    - ③ 誤っていることが書き加えてある場合は誤答とすること。

### 問6

- (ア), (ウ)については、中間点は設けない。誤字・脱字は誤答とすること。

(キ)について

- ① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、次の(a), (b)がともに書いてある内容の文ならば正答とする。
  - (a) 表Ⅰ, 表Ⅱをもとに、育児にあたる年齢階級の女性の就業率が低いという現状があること。
  - (b) 資料をもとに、子どもを保育所に預けられないということがあり、政府は受入児童数の増加を図ってきたこと。
- ② 中間点について
  - ・①の(a), (b)のいずれかの内容が不十分なものは、それぞれ4点減点とする。
  - ・①の(a), (b)のそれぞれの指定語句の脱落は、該当部分が不十分なものとして扱い4点減点とする。
  - ・誤字・脱字（句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず2点減点とする。
  - ・誤っていることが書き加えてある場合は、該当部分は不十分なものとして扱い4点減点とする。  
したがって、中間点は6点、4点、2点となる。